

大麦特報 (第4号)

令和3年5月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

- ・今年の大麦の出穂は、昨年比べて遅くなりましたが、刈取適期は5月末頃となる見込みです。
- ・下表を参考に、成熟したほ場から計画的に刈取りを進めましょう。

刈取前の注意事項

(1) カラスノエンドウ、ハマダイコンの抜き取り

- ・刈取前にはほ場を巡回し、カラスノエンドウがあれば必ず抜き取り、ほ場で処分しましょう。カラスノエンドウ種子(写真1)は粒厚が3mmと大きく、刈取時に混入すると、調製では取り除くことができません。
- ・同様に、「ハマダイコン」(写真2)の種も調製では取り除くことができないため、必ず抜き取りましょう。



写真1 カラスノエンドウ

(2) 被害粒の混入防止

- ・湿害等による生育不良の箇所では、品質低下や病害の発生が懸念されます。収穫前に確認し、赤かび病等の発生が認められる場合は、刈取り及び搬入は別扱いとしましょう。



写真2 ハマダイコン

適期刈取の実施

◎収穫期の目安

出穂期	4/12	4/15
収穫開始日	5/28	5/30

注) 成熟期：出穂日以後の積算気温（平年値+1.0℃）で推定（5/16 現在）

- ・穂軸と茎葉が完全に黄化し、子実水分30%以下となったほ場から順次刈取りを開始しましょう。
- ・早刈りは粒の充実が不十分で空洞粒の原因となります。また、刈遅れは収穫ロスが多くなるうえ、熟色不良となるため、穂首が折れる前に収穫を終えましょう。
- ・異種穀粒等の混入を防止するため、収穫前のほ場巡回や、コンバインの清掃を徹底しましょう。

